

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

中京大学スポーツ

# Beyond

Vol. 30  
2025 5月号

ショートトラック

## 林康生 選手

世界選手権 日本代表  
ワールドツアーミラノ大会 銀メダル獲得



ライト特別企画

ファイギュアスケーターが弓道に挑戦!

世界で活躍する選手たち  
鍵山優真・松生理乃・林康生・松浦透磨

6SPORTS  
男子サッカー部×アメリカンフットボール部 主将对談

体育会学生の1日に密着  
全力キャンパスライフ





# 世界で活躍する選手たち!!

ミラノ・コルティナ五輪のプレシーズンとなった2024-25シーズン。日本代表として世界で戦った4選手が思いを語った。



## Figure Skating

### フィギュアスケート

フィギュアスケート日本代表を多数輩出している中京大学スケート部。今回は、在学生として世界で活躍する2選手を紹介する。一人目は、アメリカで3月25日から6日間にわたって開催されたフィギュアスケート世界選手権2025男子シングルに出場した。日本のエース、鍵山優真選手(スポーツ科学部4年)だ。この大会の結果次第で2026年2月6日から開催されるミラノ・コルティナ五輪の各国出場枠が決まる中、鍵山選手は銅メダルを獲得し、日本の五輪出場枠は最大3枠が決定した。鍵山選手は大会前の取材で「最優先の目標は、シヨートプログラム(SP)とフリースケーティング(FS)ともにノーミスの演技をすること。そして、その先にあるミラノ五輪出場」と大会にかけた思いを語っていた。フィギュアスケートはSPの得点とFSの得点の合計点で争われる。鍵山選手はSPで持ち前の美しさと質の高さを兼ね備えた演技で2位につけた。



かぎ やま ゆう ま  
鍵山優真(スポーツ科学部4年)  
2025 世界フィギュアスケート選手権大会 3位  
2024 全日本フィギュアスケート選手権大会 1位

©共同通信社



©共同通信社

二人目は、2024年9月のグランプリシリーズスケートカナダで女子シングル総合2位に輝いた。期待のホープ松生理乃選手(スポーツ科学部3年)だ。美しく品のあるスケートティングを武器に、世界の上位6人のみが出場できるグランプリファイナル2024に進出した実力者である。大舞台に立つ上で避けられないのは、緊張だ。松生選手は緊張との向き合い方について、時折笑顔を見せながら語った。「家族や先生からの心が軽くなるような言葉、姉からもらったハーフトの木彫りのお守りのおかげで、気持ち楽になります」。周囲の支えがあつてこそ、松生選手のフィギュアスケートは

FSでは目標としていたノーミスの演技は達成できなかったものの、見事3位に入り、日本の五輪枠獲得に大きく貢献した。

世界選手権で過去3度銀メダルを獲得している鍵山選手にとっては悔しい結果となったが、「夢の舞台」と語る五輪で「優勝を目指し、心の底からスケートとオリンピックという特別な舞台を楽しみながら、フィギュアスケートの魅力については、ジャンプやスピなどのスポーツとしての高度な技術と、個性豊かな芸術性が融合している点」と語った。技術面、芸術面ともに更なる磨きがかかる鍵山選手に期待が高まる。

洗練されていることがうかがえる。さらに、自らの原動力について「応援してくれる人への演技での恩返し」と「負けず嫌いな性格」という二つを挙げた。「周りのサポートもあり、諦めずにやってきましたからこそ今があると実感しているので、うまくできない自分に向けたくないという思いがあります」と述べ、強い意志が感じられた。



©共同通信社

まついけり の  
松生理乃(スポーツ科学部3年)  
2024 グランプリシリーズスケートカナダ 2位  
2024 全日本フィギュアスケート選手権大会 5位

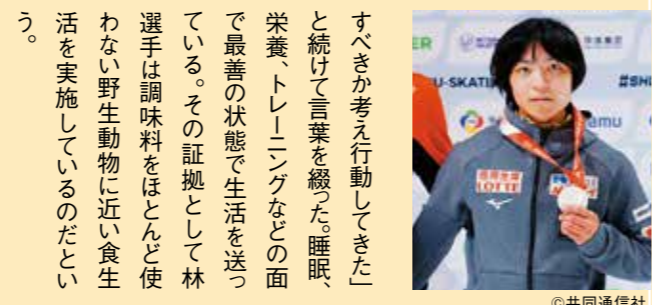
## Speed skating Short Track

### シヨートトラック

2月14日から16日まで、イタリアマミノで開催されたスピードスケート・シヨートトラックワールドツアー男子1500mで銀メダルを獲得したのは、林康生選手(スポーツ科学部4年)だ。結果について林選手はこう述べた。「体の使い方、使用する道具のセッティングが全てかみ合つてパフォーマンスを発揮できるのがシヨートトラック。その正解を見つけた」。しかし、その約1か月後に開催された世界選手権にも出場した林選手だったが「1周のタイムを0.2秒縮めれば世界一が見えてくる」という自信があつた。そのための試行錯誤をしたが、その答えが見つからなかった」と悔しさを語った。



はやしこう せい  
林康生(スポーツ科学部4年)  
2025 ショートトラックワールドツアー第6戦ミラノ大会 男子1500m 2位  
2025 全日本ショートトラック選手権大会 男子1500m 1位



©共同通信社

「小学校6年生のときに強豪国韓国で学んだ、コーナー頂点すぎで左足を強く踏み込む独特な体の使い方が、今の自分の技術の原点でもある」と分析した。

林選手は、シヨートトラックの魅力について「ゴールの瞬間まで勝敗が分からないスリル感」や「身長160cmの自分が、180cmある世界のトップ選手に対し、体格差があつても技術で補い、勝てる可能性があること」と胸を躍らせる表情で語った。

## Skiing

### スキー フリースタイル(ハーフパイプ)



まつうらとま  
松浦透磨(2024年度スポーツ科学部卒業)  
2025 フリースタイルスキー世界選手権ハーフパイプ 14位  
2025 アジア競技大会(スキー・ハーフパイプ) 4位

フリースタイルスキー・ハーフパイプ(HP)という競技をご存知だろうか。円柱を半分に切つたような形状のコースを滑りながら、空中で技を競うその光景をテレビなどで見たことがある人は多いのではないだろうか。3月30日、スイスのサンモリツで行われた世界選手権の決勝の舞台に松浦透磨選手(2024年度スポーツ科学部卒)の姿があつた。さかのぼること2週間前、松浦選手は我々の前でHPについてその多くを語ってくれた。

まず、HPの魅力は「ジャンプの高さ、完成度、難易度、多彩さなど多くの要素からなる競技性。そしてライバルでもあり仲間でもある選手同士の関係の中で、アドバンスし合いながら皆で成長していく競技の特性」と楽しげに語った。特にジャンプの多彩さについて

は本人が武器としてしている一つである。「誰もやっていない新しい技に挑戦すること」カテゴライズを振り切るように滑走する松浦選手のHPは挑戦することへの緊張感さえも楽しんでいるようにも見える。この性分もまた、強みのひとつなのかもしれない。そんな松浦選手が普段心掛けていることがある。「どんなに些細なことでも良いので、必ず一日一個新しいことに挑戦することである。これは松浦選手の間としての魅力そのものだろう。自分で自分を信じて日々努力を続けることで挑戦への道は開けるのだ。

目標である世界大会での入賞に向けて松浦選手はこれからも日々自分と、仲間と切磋琢磨し合い、前進し続ける。



01 競技と出会ったきっかけ

**那須** 年少から始めました。体を動かすことが幼少期から好きだったこともあり、よく公園で遊んでいました。その時にたまたまあったボールを蹴ったことがサッカー人生の始まりでした。そこから幼稚園のグラウンドで毎日のようにサッカーをするようになり、大好きになって今でも続けています。

**鈴木** アメリカンフットボール(以下、アメフト)は大学から始めました。高校まではサッカー部に所属していましたが、フジナルに自信があつて、試合でファウルになることが多く「ものたりない…」と感じることがありました。そんな時に中京大学アメフト部から声をかけてもらい、アメフトに興味を持ち、大学から始めることにしました。

02 お互いの競技の印象

**那須** いとこがアメフトをしていたので、何回か試合を見たことがあります。ルールが難しい印象がありますが、サッカーと比べて迫力を感じます。見ていて楽しいですし、サッカーにはないコンタクトプレーがあるのでカッコよくてすごいと思います。

**鈴木** サッカーは味方同士がミスしてもカバーしあうスポーツという印象ですね。信頼関係が成り立っていないとできない競技だと思えます。

**那須** まさに、その通りです。(笑)

**鈴木** ちなみに、サッカー部の試合は個人的によく見に行きますよ。

**那須** ほんまっすか!? (笑)



男子 サッカー部 × アメリカンフットボール部

主将対談

『主将が語る、強くなるための体づくりとモチベーション』

競技は違えど、共通点を持つ二人の主将对談。2025年シーズン、中京大学サッカー部とアメリカンフットボール部の那須健一選手とアメフト部の鈴木満苅牙選手。競技こそ違えど、鈴木選手は高校までサッカー部に所属し、シオンだったという共通点を持っている。けるモチベーション』について語り合った。



03 大学入学から40kg増量！  
鈴木選手の体づくり

**那須** 俺ももっとゴツくなりたいんですけど、何をどうしたらそんなにゴツい体ができるんですか？

**鈴木** 筋トレと食事がな。

**那須** 食事は質より量？

**鈴木** 量にも質にもこだわってる。1日5食とプロテイン2回。朝から炭水化物とタンパク質はめちやくちや取っています。



04 那須選手のもちベーションの保ち方

**鈴木** 年少から今まで長くサッカーを続けてきて、どうやってここまでモチベーションを保ってきたの？

**那須** サッカーが一番好きってだけですね。好きなことをしているだけだから、「プロになつて続けたい」というモチベーションでトレーニングを頑張り続けられています。

**ライト** サッカーを嫌いになつたことはないんですか？

**那須** 嫌いになつたことは何回もあります。特に夏のランメニューとか。でも、これで試合に勝つたりできると思うと練習もできちゃいますね。

**ライト** それぞれ嫌いなメニューはありますか？

**那須** 2日間オフを挟んだ日のスプリント系のランメニューが一番しんどいです。

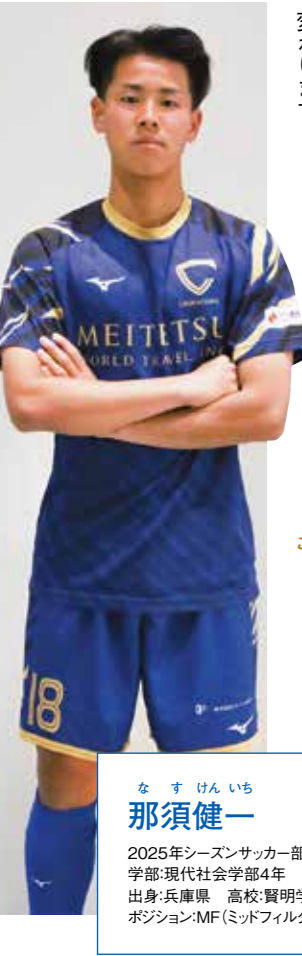
**鈴木** アメフト部は、3分間走というメニューがあつてそれが一番きついです。3分間でコート直線を2本か3本くらい切り返して走るメニューなんですけど、どれだけ自分と戦って記録を伸ばしていくかが大事なのできついです。

**ライト** 二人ともランメニューが辛いんですね。

**那須** そうです。だから陸上部とか考えられないです。(笑)

05 タイプの違う主将たち

**那須** 主将に選ばれた時は、「絶対自分じゃあかんやろ」と思いました。でも、二つ上の先輩や



**監督**が「お前に任す」と言ってくれたので、(主将に)なつたからにはチームを引っ張っていくという気持ちが強くなりました。

**鈴木** 自分は3年生の頃から監督に「来年頼むぞ」と言われていたので、ある程度覚悟は決まっていました。でも、いざ主将として活動を始めると、先輩やコーチからの期待の声プレッシャーが変わり、「きついな」と思う時期がありました。でも今ではその気持ちを切り替えて「やったるぞ」という気持ちの方が強いです。

**那須** 自分は(鈴木選手とは)逆で、プレッシャーとかあまり感じないタイプなので、むしろ期待される方が「やったる」という気持ちに変わります。

**ライト** 主将の立場は難しいですか？

**鈴木** 難しいですね…

**那須** 自分はまだ主将になつてすぐなので、まだわからないですね。これからどうなるんでしょうね。

**那須** 選手と鈴木選手は、異なる競技で主将としてチームを牽引し、日々努力を重ねています。どちらも「強くなりたい」「チームを勝たせたい」という思いでこれからのシーズンに挑んでいくことでしょうか。その活躍に注目です。



# 女子ソフトボール部 新チーム始動!

2024年シーズン、中京大学女子ソフトボール部は庄巻の活躍を見た。第56回西日本大学ソフトボール選手権大会では見事優勝を果たし、続く第59回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(全日本インカレ)では堂々の準優勝を飾った。そして、大学生チームとして最も注目を浴びたのが第76回全日本女子ソフトボール選手権大会(皇后杯)での戦いだった。女子ソフトボールにおける国内最上位リーグであるJDリーグのトップチームがひしめく中で、創部初のベスト4入りを達成し、大学勢としては18年ぶりの快挙となる3位入賞を果たした。この結果は、大学ソフトボール界の歴史に名を刻むものとなった。

さらに、10月に台湾で開催された第4回女子大学ソフトボールアジアカップ2024では、中京大学から4人の選手が女子大学日本代表として選出され、見事優勝。国際舞台でも日本の力を示す形となり、選手たちは貴重な経験を積んだ。



きた竹田愛佳選手(スポーツ科学部4年)と村田涼香選手(スポーツ科学部4年)である。彼女たちにチームの強さの秘訣や、ソフトボールにかける思いを語ってもらった。

## 中京大学へ進学した理由

千葉県の高校に通っていた竹田選手は高校時代から「日本一」を目指し、練習に打ち込んできた。大学進学を考えた際には、関東の強豪校の練習にも参加したが、高校時代の戦術が似ていたことや練習の雰囲気、練習環境を踏まえた上で「中京大学で日本一を取りたい」という強い意思を持ち、進学を決意した。

一方、愛知県の高校に通っていた村田選手は、高校時代、一度ソフトボールから離れる決断をした。しかし、その後の生活の中でソフトボールに没頭し、「一生懸命頑張っていた自分が一番輝いていた」ということに気づき、「中京大学で日本一を目指して頑張り、もう一度輝く自分の姿が見たい」という思いを胸に、

競技に復帰する道を選んだ。

中京大学女子ソフトボール部は、全日本インカレで一度の優勝経験を持つ強豪だ。その強さの背景には、実戦を想定した戦術的なトレーニングがある。技術向上だけでなく、試合を想定した「考える力」を鍛える練習が徹底されている。また、ウエイトトレーニングの負荷も高く、体力・筋力の強化が欠かせない。そして、名物トレーニング「猿投山ダッシュ」では、大学付近にある猿投山を駆け上るという過酷なメニューが課され、選手たちは精神的・肉体的に大きく成長している。

また、中京大学女子ソフトボール部の選手たちは寮生活を送っており、競技に集中できる環境が整っている。寮生活では、ソフトボールだけでなく、生活習慣や人間関係の面でも成長する機会が多い。お互いの生活スタイルを学びながら、チームワークを深めているのだ。週6日の練習に励む中、束の間のおフにはチームメイトとパーベキューやぶどう狩りに出かけるなど、リフレッシュの時間も大切にしている。

## チーム全体に広がる ポジティブなマインド

今シーズンのチームの特徴として、試合や練習の苦しい場面でも前向きに取り組む選手が多いという。村田選手もその一人で、



「しんどいメニューをすることは苦ではなく、むしろ好き」と語るように、困難を乗り越えることを楽しむ姿勢がチーム全体に浸透している。その意識の広がりによって、厳しい場面でも前向きに取り組む雰囲気がチーム全体に根付いているようだ。

## 2025年シーズンに向けた 日本一への挑戦

「日本一、全ての試合で勝つ」と力強い言葉で今後の目標を語った。練習試合でも一度も負けないように勝ち続けることで、全日本インカレや皇后杯での優勝をつかむという強い決意を持っている。

昨年の皇后杯準決勝では、本大会で優勝を果たしたJDリーグのチームにコールド負けを喫し、悔しさを味わった。しかし、その試合でJDリーグの選手たちの打球の速さやミート力を直に感じることで、大きな収穫を得た。彼女たちはこの経験を糧に、2025年シーズンでは負けなしの「日本一」を目指して戦っていく。

2024年シーズン、中京大学女子ソフトボール部は大学ソフトボール界において確固たる地位を築いた。2025年シーズンはさらなる高みを目指し、「負けなしの日本一」という大きな目標に向かって挑戦を続ける。彼女たちの戦いは、まだまだ続く。

## !! 選手プロフィール



たけだ まな か  
竹田愛佳

スポーツ科学部4年。三塁手としてクリーンナップを担い、長打力を武器に勝負強い打撃を誇る。ウエイトトレーニングを好み、日々の練習でさらなるパワーアップを図る努力家。2024年シーズンには大学アジアカップで大学日本代表に選出され、チームの優勝に大きく貢献した。



むら たりょうか  
村田涼香

スポーツ科学部4年。遊撃手として堅実な守備を誇り、打撃では繋ぐバツティングで下位打線を支える。ランニングメニューやウエイトトレーニングを好み、「辛い練習であればあるほど好き」と語るほどの練習の鬼。2024年シーズンは竹田選手とともに副主将を務め、中京大学女子ソフトボール部のインカレ準優勝に大きく貢献した。



# 全カ キャンパスライフ

男子サッカー部  
マネージャー

ほったなゆみ  
堀田奈弓さん  
(経済学部3年)



今回紹介する私の1日は、  
豊田で部活→名古屋で授業→  
授業後にアルバイトをする日の  
スケジュールです!

## Point

マネージャーとして  
チームを支える

サッカー部のマネージャーは練習  
開始の1時間前に集合して選手の  
飲み物を作ったり、ユニフォームを  
回収したり常に  
選手のサポート  
をしています!



## Point

友達と授業を受けるのが  
楽しみのひとつ!

名古屋キャンパスで友達と待ち合わせ、  
一緒に授業を受けるのが何よりの楽しみ!  
授業が始まるまでのひとときは、笑いが絶  
えない楽しいおしゃ  
べりタイム。



## Point

朝練の日は  
授業が終わってからアルバイト

アルバイトのシフトは部活のスケ  
ジュールや授業の時間割によって変  
えています!

常に周りを見て  
行動することが大事!



- 🕒 ..... 5:30 起床
- 🕒 ..... 6:30 部活の朝練 @豊田キャンパス  
いつも眠気と闘いながらグラウンドへ向かっています。
- 🕒 ..... 10:00 豊田キャンパス→  
名古屋キャンパスへ  
キャンパス間は電車で移動!
- 🕒 ..... 10:45 授業(2限)
- 🕒 ..... 12:15 昼食  
名古屋キャンパスの学生食堂を  
よく利用しています!
- 🕒 ..... 13:10 授業(3限)
- 🕒 ..... 17:00 アルバイト
- 🕒 ..... 20:00 帰宅  
早起きのおかげで夜もぐっすり眠れます。  
部活動と授業とアルバイト、日々忙しいけれど  
やり切った後の充実感と達成感が最高!
- 🕒 ..... 24:00 就寝

今回は、名古屋キャンパス で学び、豊田キャンパスで  
部活動に情熱を注ぐ学生 たちの1日をお届けします!  
彼らの活気あふれる 日常にライトが密着 📸

陸上競技部

ふじわら こうが  
藤原煌牙さん  
(総合政策学部3年)



今回紹介する私の1日は、  
アルバイト→名古屋で授業→豊田で  
部活をする日のスケジュールです!

## Point

夜は時間がないから  
朝にアルバイト

夕方に部活があり、夜はしっかり休  
むためアルバイトは早朝派!早起き  
にも慣れてきたので余裕です!

## Point

メリハリをつけて授業に集中!!

アルバイト終わりでも、授業が  
始まったら集中!  
難しい課題なども友  
達と協力しながら進  
めていきます。



## Point

大会に向けて練習!

大会に向けて基礎練習を中心に  
行います。1つ1つの練習を真剣  
に取り組むことで、本番で成果を  
発揮することができます!



専門の短距離で  
大会優勝を目指す!

- 🕒 ..... 5:30 起床
- 🕒 ..... 6:00 アルバイト
- 🕒 ..... 10:45 授業(2限)
- 🕒 ..... 12:15 昼食
- 🕒 ..... 13:10 授業(3限)  
部活に参加できるよう、  
基本的に3限までに授業を終える時間割にしています。
- 🕒 ..... 14:55 名古屋キャンパス→  
豊田キャンパス  
大学のキャンパス間連絡バスを利用。  
無料で乗れるのがありがたい!
- 🕒 ..... 17:00 部活
- 🕒 ..... 20:00 帰宅
- 🕒 ..... 23:00 就寝





やましたまこ  
山下真瑚選手

2024年度にスポーツ科学部を卒業した現役フィギュアスケーター。在学中は4年次にスケート部主将を務め、インカレ女子総合優勝に大きく貢献した。

### Q どうして弓道をやってみたくて思った?

幼い頃からフィギュアスケートの大会会場の横で行われていた弓道の試合を見ていて、カッコいいなと思ったことがきっかけです。

### Q 今回の弓道体験の目標!

楽しみながら弓道がどんな競技で、どのような難しさがあるのかを知ることです!

弓道体験密着動画はこちら



### Q 弓道の魅力は?

古くから続いている競技であること、礼儀を重んじているところに惹かれています。弓道をテーマにしたアニメにもハマっています!

### Q 弓道を実際に体験してみようだった?

とても楽しかったです! 想像していたよりも、美しい姿勢を保つのが難しかったですが、念願の弓を引くことができとてもうれしかったです。



# フィギュアスケーターが弓道に挑戦!

教えてくれたのは



山下さんを指導したのは、弓道部主将の長村和音(スポーツ科学部3年)さんです。的確な指示とアドバイスで山下さんの成長をサポートし、弓道の動きや決まり事も広く教えてくれました。長村さんの弓を引く姿は静かな迫力があり、取材したライトのメンバーも引きつけられました。

### 1日目 弓の持ち方や引く姿勢などの基礎から始めました。

力の使い方や姿勢を保つのに苦労しながらも、アドバイスを受けて楽しみながら練習しました。時々、弓道部の部員のお手本を参考にし、自分の改善点を見つけました。1日目終了時には、姿勢が安定し、弓を引く姿もカッコよくなっていました。



### 2日目 腕が筋肉痛の中で始まった2日目。

「矢を持ちたい」という目標を掲げて練習がスタートしました。自主練の成果もあり、1日目と同様に美しい姿勢で弓を引いていました。その後、手に「かけ」を装着して矢を持つ練習に入りましたが、「手から矢が離れない!」と苦戦しました。それでも、弓道部の部員のお手本を参考にしながら何度も練習を重ねました。最後には藁でできた的に向かって弓を引き、今までの練習の成果を発揮して見事に命中しました。「シングルアクセルができるようになったときよりうれしい!」と、笑顔がこぼれました。



# 体育会 功労賞 2024

2024年度に開かれた競技会で優秀な成績を収めた体育会所属の15団体、および個人賞として92人が表彰されました。

記事本文はこちら



硬式野球部 高木快大  
第31回ハーlemベースボールウィーク 日本代表/優勝  
第43回ブラハベースボールウィーク 日本代表/優勝



女子ソフトボール部  
井田純麗、榊原深那、成瀬結衣、竹田愛佳  
第4回女子大学アジアカップ 日本代表/優勝



アルティメット部 第35回全日本大学アルティメット選手権大会 オープン部門/ウィメン部門 2位



水泳部 第100回日本学生選手権水泳競技大会 女子総合2位



スケート部 第97回日本学生氷上競技選手権大会 フィギュア競技 女子総合優勝



男子ソフトボール部  
濱田広大、上鶴大聖  
MAKASSAR OPEN INTERNATIONAL MEN'S AND WOMEN'S SOFTBALL TOURNAMENT 2024 日本代表/優勝



陸上競技部 松田流輝  
円盤投 第40回U20 日本陸上競技選手権大会 優勝



陸上競技部 櫻井希美  
やり投 第40回U20 日本陸上競技選手権大会 優勝



ウエイトリフティング部 柳奏良  
第70回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(II部) 優勝



スケート部 中島未莉  
第35回全日本ショートトラック距離別選手権大会 3冠



# トレーナーサークル「GET」に注目! アスリートを支える人たち

アスリートたちを日々支えるために、なくてはならない存在である中京大学スポーツトレーナー部会「GET」。  
そんな「GET」に所属する学生トレーナーに3つの質問を行いました!

- 1 トレーナーを志したきっかけを教えてください。
- 2 トレーナー活動の中で意識していることを教えてください。
- 3 「GET」を一言で表すと? その理由とともに教えてください。



**山本凌大** やまもと りょうた  
スポーツ科学部3年  
陸上競技部トレーナー

① **自身の経験がきっかけに**  
選手時代から身体の使い方に興味がありトレーニングを通してパフォーマンスが上がった経験から。

② **信頼関係の構築**  
知識や経験を求められることはもちろん、まず人として信頼し頼ってもらえるように心がけている。

③ **あらゆる壁を超えた仲間**  
学年や学科、部活などの壁を超え、同じ志を持った人たちが切磋琢磨し高め合う集団だと思っから。



**宇仁大翔** うに だいて  
スポーツ科学部3年  
男子サッカー部トレーナー

① **トレーナーの姿に憧れて**  
高校時代、サッカー部でけがに悩まされた際にトレーナーの協力により復帰がかない興味を持った。

② **コミュニケーション**  
自分の知識や経験に自信を持ち、選手に的確に伝わるような言語化を意識している。

③ **学びと仲間作りの場所**  
学びを深めることはもちろん、他の部活動のトレーナーや大学院生、先生方とも関わる事ができるから。



**森山心愛** もりやま こゐ  
スポーツ科学部2年  
女子ラクロス部トレーナー

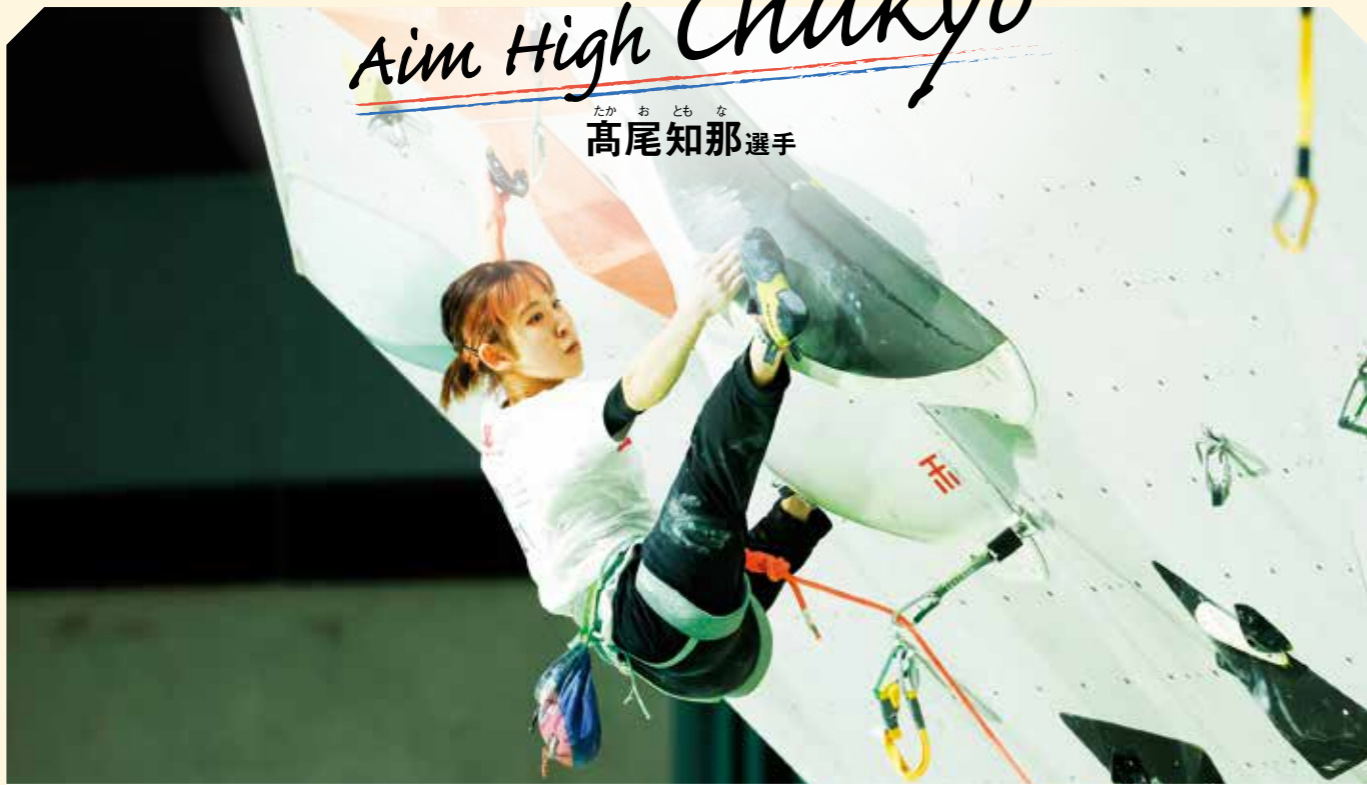
① **支える姿に憧れた**  
高校1年時にテレビ番組でトレーナーが選手を支えている様子を見てトレーナーに憧れを抱いた。

② **知識をどう生かすのか**  
色々なことを学ぶたびに知識を落とし込み、選手のために今の自分に何ができるかを考えている。

③ **仲間と知識を得る場**  
トレーナー仲間と一緒に学習することで、新しいトレーナー仲間や知識を増やすことができるから。

# Aim High Chukyō

たか お とも な  
高尾知那選手



## 世界で活躍!注目選手 スポーツクライミング 高尾知那選手

2024年9月にスロベニアで開かれたFISU世界大学スポーツクライミング選手権、女子リードで大学世界チャンピオンに輝いたのは、高尾知那選手(スポーツ科学部3年)だ。高尾選手は、IFSC(国際スポーツクライミング連盟)主催のユースアジア選手権大会での入賞や、スポーツクライミング界の最高峰である「IFSCクライミングワールドカップ」への出場など、国内外での活躍が目覚ましい。その栄誉がたたえられ、2025年3月に梅村清英学長より学長賞が授与された。

スポーツクライミングは、リードクライミング、ボルダリング、スピードクライミングの3種目から構成され、高尾選手が専門とするリードクライミングは、高さ12メートル以上の壁を登り、到達した高さを競う種目である。ロープで安全を確保しながら、計画性や冷静な判断力、そして体力を効率よく使う技術が求められるこの競技で実力を発揮している高尾選手にインタビューを行った。

**Q スポーツクライミングの魅力は?**  
クライミングの魅力は、どんな人でもできることです。障害や年齢、性別問わず誰でもチャレンジできることが魅力だと思います。私は小学1年生の時に初めて挑戦しましたが、子どもながらに登れた時のうれしさ、ゴールまで行けた時のうれしさを覚えています。

### Q 中京大学に入学した理由は?

家から近くて通いやすいからです(笑)。スポーツ科学部について調べてみると、スポーツのメンタル面についての勉強ができるのと、興味を持ちました。メンタルトレーニングの授業で学んだ呼吸法などを大会で実践できていて、競技に生かされています。

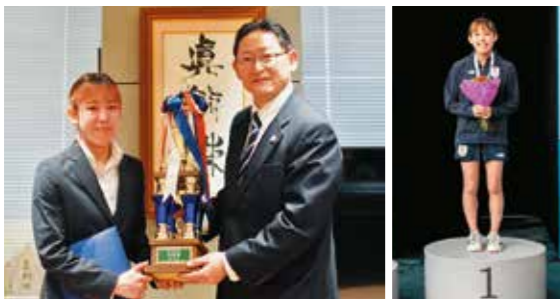
### Q 競技と学業をどのように両立している?

部活動として行っている訳ではないので、夜に練習をしたり、大学の授業の空いている時間を見つけて練習をしたりしています。アルバイトもしているので、良いあんばいで取り組むことがコツだと考えています。

### Q 今後の目標は?

競技者としての目標は、ワールドカップ総合優勝です。将来は、ワールドカップに出場する選手に帯同するようになりたいです。

インタビューを通して、競技と学業を両立させる努力や、目標に向かって挑戦し続けるひたむきさがうかがえた。これからの高尾選手の活躍に、ますます目が離せない。





附属高校の最新ニュースをお届け!

# 中京大中京高校 News



## News

### 無敗の女子高生―岩口紗藍選手の挑戦

中京大中京高校に在学中のフルコンタクト空手・岩口紗藍選手(3年)は、中学3年生から大会無敗を誇る実力者であり、IBKO極真ワールドカップ空手選手権大会にも出場している。本来、岩口選手は高校生18歳以下のクラスで戦うのだが、これまでの戦績が高く評価され、特別に一般のクラスへの出場が認められた。そして、その舞台で見事に優勝を果たした経歴を持つ。この快挙を成し遂げた背景には、勝利への強い意志があった。そんな岩口選手に学生広報スタッフが「ライト」がインタビューした。

岩口選手が空手をはじめたきっかけは、師範である父親の影響だという。4歳のころ、空手が何をするものなのか分からなかったが、父と一緒にたくて道場についていき、空手の稽古に参加するようになった。その中でフルコンタクト空手の楽しさに気づいていったという。

岩口選手は現在の目標について、

最後に、夢や目標に向かって努力している人へのアドバイスとして、「大きな目標を立てたら、それに向かって小さな目標を作ることが大事です。すぐ達成できるものを設定して、一歩ずつ進んでいくのが成功への道だと思います」と語った。

岩口選手の強さの秘訣は、日々の戦略的な努力と「勝利」への強いこだわりにある。これからも彼女の活躍に注目したい。

### 中京大学スポーツミュージアム第13回企画展「アジア競技大会の歴史と現在」

2026年9月19日から10月4日まで第20回アジア競技大会が、2026年10月18日から24日まで第5回アジアパラ競技大会が愛知県と名古屋市の共催で開催される。この大会はオリンピック公認のアジア圏の競技大会であり、日本での開催は32年ぶりとなる。大会に先駆け、豊田キャンパスにあるスポーツミュージアムで第13回企画展「アジア競技大会の歴史と現在」が3月18日に始まった。



展示では、実施される競技と開催場所が簡単にわかるマップや大会記念のポロシャツなどが紹介されており、アジア大会が愛

知県内で開かれることを実感できる内容になっている。また、過去の大会についても、東京で開かれた第3回大会や広島で開かれた第12回大会の様子をわかりやすく学ぶことができる。

さらに、過去の大会のメダルや第12回大会の関係者による署名が入った記念プレートなど、貴重な展示品も並んでいる。来館時に無料で配布される企画展示図録を利用することで、展示についてより詳しく学ぶことができる。

現在の企画展は7月3日まで期間限定ではあるが、今後より大会の歴史に着目した企画展も開催予定だ。

スポーツミュージアムでは企画展だけでなく常時展示も実施している。ぜひ一度足を運び、スポーツの歴史について触れてほしい。



### 「UNIVAS AWARDS 2024-25」で最優秀賞・優秀賞を含む5部門受賞

大学スポーツの発展に貢献した学生や団体を表彰するUNIVAS AWARDS 2024-25において、中京大学の関係者が最優秀賞・優秀賞を含む5部門を受賞した。

「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」最優秀賞と文部科学大臣賞に選ばれた水泳部の神野ゆめさん(2024年度スポーツ科学部卒)



中京大学 受賞者一覧  
詳細記事はこちらから  
ご覧ください!



### 中山彰規体育学部(現:スポーツ科学部)名誉教授死去

1960年から70年代にかけて世界をリードした日本男子体操競技界の中心選手の一人として68年のメキシコシティー、72年ミュンヘン両オリンピックに出場し、金メダル6個を含む計10個のメダルを獲得した「中京大学オリンピック」中山彰規体育学部(現:スポーツ科学部)名誉教授が3月9日、胃がんのため死去した。82歳だった。

名古屋出身の中山名誉教授は中京商業高(現:中京大中京高)、中京大を卒業。両五輪当時は中京大教員を務めていた。特に得意とした種目はつり輪と鉄棒で「ナカヤマ」



©共同通信社

の名前を冠した技もあるなど名手として知られ、つり輪はメキシコシティー、ミュンヘンの両五輪で金メダルに輝いた。中京大教員生活は65年から2011年までに及び、03年に紫綬褒章を受章、05年には国際体操殿堂入りを果たした。体育学部の授業では教室に金メダルを持参して、学生たちの首にかけてくれたという。

獲得した五輪メダル  
●メキシコシティー(金団体総合つり輪 平行棒 鉄棒)  
●ミュンヘン(金団体総合つり輪 銀ゆか(銅個人総合))

## News

### 島田麻央選手、中田璃士選手が世界大会で金メダル

世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2025の女子シングルで、島田麻央選手(2年)が史上初の大会3連覇を達成し、フィギュア界に新たな歴史を刻んだ。島田選手は、ショートプログラム(SP)で74・68点を記録し首位に立ち、フリースケーティング(FS)で156・16点を獲得。合計230・84点で2位を大きく引き離し、見事3度目の金メダルに輝いた。

また、同大会男子シングルでは中田璃士選手(2年)が優勝を果たし、その実力を世界に示した。

学生広報スタッフ「ライト」は大会後、中田選手へ直接インタビューすることができた。試合の感想について中田選手に尋ねると、「うれしさよりも悔しさが勝つ試合でした」と率直な思いを語った。「力を発揮しきれなかったのが悔しかったです」と、FS冒頭の4回転ジャンプのミスや悔やむ様子が見られた。しかし、「ジャンプのミスを引きずらず、切り替えることができたのは良かった」と振り返った。国際舞台で戦



©共同通信社

う上で意識していることについては、「自分に100%集中して優勝を目指すことを意識して頑張っています」と力強く答えた。そのために、試合前は相手選手の曲や得点を聞かず、自分に集中することで緊張を抑えているそう。最後に、10年後の自分について尋ねると、「憧れられる存在になりたい。そのために、アスリートとしてかっこいいと思われるように練習に励んで、結果を残したいと思います」と強い意志を見せた。憧れの選手として中京大中京高校卒業生の宇野昌磨さんの名前を挙げ、「挑戦する姿がかっこいいと思っています」と語った。



©共同通信社

島田選手、中田選手ともに2026年のミラノ・コルティナ五輪に出場できる年齢に達しておらず、シニアデビューはもう少し先になる。彼らの活躍にこれからも期待を寄せたい。



学生広報スタッフ「ライト」の



# WEB拠点開設!

ライトの情熱が詰まったWEB拠点、ついに始動!  
大学の魅力や最新情報を、学生の視点から発信します。  
さらに、WEBサイト限定のオリジナル記事も  
続々公開予定です☆ぜひ、チェックしてみてください!  
あなたの知らない中京大学の魅力が満載です!

Web拠点は  
こちら



## チューグルを探せ!

「レッツゴーチューグル」が  
ページの中に隠れています。

チューグルを見つけてアンケートにお答えいた  
だいた方の中から、**正解した5名様**に抽選で  
チューグルグッズをプレゼントします!

こちらからご回答いただけます



回答期間:2025年5月2日(金)~6月15日(日)

同じポーズの  
「レッツゴーチューグル」を  
見つけてね!



CHUKYOイーグル  
マスコットキャラクター  
「チューグル」

中京大学スポーツ振興部のSNSもチェック!



Instagram



Facebook



X



Youtube